

# 暖房手当腹づもりアンケート調査結果（速報）

2008年9月29日  
北海道中小企業家同友会  
TEL (011) 611-3411

この調査は、当会会員企業（5,076社）の中から地域、業種を勘案の上、無作為に1,500社を抽出し9月2日にアンケートを送付、9月12日までに回答のあった298社についてまとめたものです。回答企業の平均資本金、平均従業員数は表3の通りです。なお、速報のため回答企業数も十分ではありませんし、この種のアンケートは比較的業績の良い企業ほど早めに回答を寄せる傾向がありますので、そのことを考慮してご活用下さい。

## 1. 支給額の意向は、「昨年並み」が53%を占める

「支給額の意向」（表1）をみると、全道で「昨年並み」が53%、「増額」18.1%、「減額」6.4%となっています。「増額」は、「札幌」27.9%、「札幌以外」11.4%となっており、「札幌以外」の厳しさが伺われます。

【表1. 支給額の意向】

	増額	昨年並	減額	その他
札幌	34社 (27.9%)	63社 (51.6%)	8社 (6.6%)	17社 (13.9%)
札幌以外	20社 (11.4%)	95社 (54.0%)	11社 (6.3%)	50社 (28.4%)
全道	54社 (18.1%)	158社 (53.0%)	19社 (6.4%)	67社 (22.5%)

【表2. 支給・不支給企業】

	支給する	支給しない
札幌	98社 (87.5%)	14社 (12.5%)
札幌以外	123社 (75.9%)	39社 (24.1%)
全道	221社 (80.7%)	53社 (19.3%)

## 2. 暖房手当の平均支給予定額は、昨年より若干増額

「暖房手当の平均支給予定額」（表3）の全道平均をみると、世帯主で昨年より7,779円（アップ率7.3%）多い114,995円、準世帯主が2,775円（同4.4%）増の65,817円、独身者も2,577円（同5.5%）増の49,287円となっています。

昨年10月の灯油価格は1ℓ当たり80円前後、今年は120円前後と40円ほど高くなっています。「灯油価格が上昇しているので増額したいが、現在の業績では難しい」とのコメントも多く、従業員の生活と企業の業績実態の間で苦悩する中小企業経営者の姿が浮かび上がりました。

灯油価格が現在のまま推移すると、1世帯当たりの灯油代は年間7万円（年間消費量を1,800ℓと仮定）ほどの負担増となり、個人消費の冷え込みによる景気悪化が中小企業経営をさらに困難にするという悪循環が懸念されます。国や地方自治体の早急な対策が望まれます。

【表3. 暖房手当の平均支給予定額】

	平均		世帯主		準世帯主		独身者	
	資本金	従業員数	07年実績	08年予定	07年実績	08年予定	07年実績	08年予定
札幌（122社）	3,511万円	34.7人	109,656	119,291 (8.8%)	60,383	64,805 (7.3%)	45,245	47,988 (6.1%)
札幌以外(176社)	2,268万円	26.9人	105,150	111,324 (5.9%)	65,447	66,737 (2.0%)	47,939	50,365 (5.1%)
全道（298社）	2,776万円	30.1人	107,216	114,995 (7.3%)	63,042	65,817 (4.4%)	46,710	49,287 (5.5%)

\*上段は金額（単位：円）、下段は対前年比アップ率。「準世帯主」とは、親元を離れて生活している独身者

## 3. 暖房手当を支給しない企業も増える傾向

「支給・不支給企業」（表2）をみると、「支給しない」企業が53社と全体の19%を占め、「廃止の方向で検討」「経営が厳しく払えない」などのコメントが目立ちました。今後、業績の悪化で「支給しない」企業が増える傾向にあるようです。